



# Weekly Report

2014～2015 年度会長方針「伝統と変革、より良いクラブを築こう」

創立/1986年2月19日 (会長)渡邊 裕之 (副会長)村山 圭治 (幹事)榎田 隆治  
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111  
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644  
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail [info@toshimah-rc.jp](mailto:info@toshimah-rc.jp)

## 第 1344 回例会

2014 年 7 月 31 日

### 本日のプログラム

池袋RCとの合同例会 12:30～13:45  
クラブフォーラム  
社会奉仕委員会

### 次回のプログラム

ガバナー公式訪問  
会長幹事打合せ 10:30～11:15  
クラブ協議会 11:15～12:15  
例会 12:30～13:30  
特別卓話 国際ロータリー第2580地区  
ガバナー 鈴木孝雄氏

前回の例会報告 2014 年 7 月 23 日

## 会長報告

- ①次週の合同例会は31日（木曜日）12時30分～13時45分 池袋RC主催により第1回目は社会奉仕委員会のクラブフォーラムが開催されますのでご出席をお願いいたします。つきましては、当日のご案内を例会後にFAXいたしますので、皆様のご予定を事務局までお知らせください。尚、30日（水）の定例例会はございません。
- ②バギオ基金へ寄付されました前川会員へ領収書と感謝状が届いておりますのでお渡し致します。尚、クラブへも第111回の感謝状をいただいております。

## 幹事報告

- ①本日のクラブ協議会は、8月6日鈴木ガバナー公式訪問時に開催するクラブ協議会のリハーサルという形で行います。5大奉仕、バギオ委員会を中心として、各委員会の活動計画・状況などについて、各委員長から会員の皆様へ発表して下さい。なお、当日のクラブ協議会にはオブザーバー席を用意しております。入会して間もない会員の皆様には良い経験になると存じますので積極的にご出席ください。
- ②8月の理事会は20日（水）の11時15分からですので日程をご確認下さい。

### ■ビジター

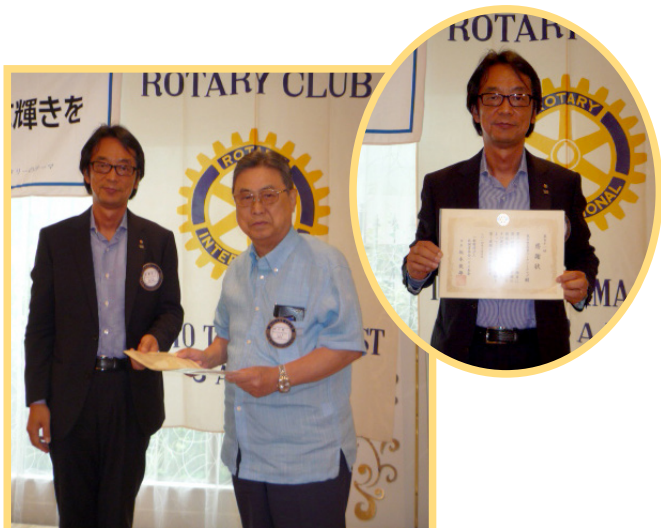
東京池袋西RC

安達 政弘様

### ■出席報告

会員	出席 参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	7月9日分 修正出席率
33名	29名	25名	4名	86.21%	96.55%

## バギオ寄付感謝状



## ニコニコ BOX

榎田会員/8月6日の鈴木ガバナー訪問を控えて本日のクラブ協議会でリハーサルを行います。何卒よろしくお願い致します。

新倉会員/早退いたします。

## 8月の例会スケジュール

8月6日[1345]

ガバナー公式訪問  
会長幹事打合せ 10:30～11:15  
クラブ協議会 11:15～12:15  
例会 12:30～13:30  
特別卓話 国際ロータリー第2580地区  
ガバナー 鈴木孝雄氏

8月13日

お盆規定休会

8月20日[1346]

理事会 11:15～12:00  
クラブフォーラム 12:30～13:30  
ロータリーの友紹介

8月27日[1347]

例会  
拡大移動夜間例会(納涼家族会) 於:リビエラ東京  
受付 17:30  
例会点鐘 18:00

## ロータリー奨学生が国際協力の架け橋に



ロータリー奨学生のアイシス・メジアス・カルピオさん。非営利団体Engineers Without Borders (国境なきエンジニア)のメンバーとしてケニアを訪れ、村の子どもたちと写真を撮りました。

写真提供 Courtesy Isis E. Mejias Carpio

ひとりのロータリー奨学生から、さまざまな協力関係が生まれたという事例をご紹介します。

### @ ブラジル

ブラジルのクタバン市で、市営病院に乳房X線撮影装置を贈るグローバル補助金プロジェクトが実施され、乳がん検査をより効率的に行うことが可能になりました。

当時、近郊のサンパウロ大学には、米国からのロータリー奨学生、アイシス・メジアス・カルピオさんが留学していました。そして、彼女が橋渡しとなって、さらなる支援活動が実現されることとなります。

ちょうど、留学先でメジアスさんをサポートしたクタバン・ロータリークラブでは、女性のための医療サービスをさらに拡張する必要性を感じていました。そこで、「架け橋となるのが奨学生の大切な役割」だと考えたメジアスさんは、母国から自分を送り出してくれたハンプル・インターコンチネンタル・ロータリークラブ(米国ヒューストン)なら協力してくれるかもしれないと考え、連絡を取りました。

その結果、医療従事者を対象とした研修と、住民を対象としたガンの啓蒙教育を実施するプロジェクトを行う運びとなりました。

### @ ボツワナ

すると今度は、ヒューストンのロータリー会員、ビル・デイビスさんから、別のプロジェクトの提案が。

デイビスさんは、ボツワナで小児医療やHIV感染児童の支援

を無料で実施しているバイラー大学(テキサス州)とのつながりがあり、この活動を支援するためにロータリーの補助金を活用したいと考えていました。それを聞いたメジアスさんは、さっそくブラジルにいるロータリー会員に協力を呼びかけました。

こうして、米国とブラジルのロータリー会員の支援によって、HIVの子どもの支援するグローバル補助金プロジェクトが実現。メジアスさんを通じた協力関係があったから実現されたプロジェクトだといえるでしょう。

### @ ケニア

同じころ、メジアスさんは、非営利組織Engineers Without Borders(国境なきエンジニア、略称EWB)のメンバーとしても活動しており、ケニアの病院にきれいな水を提供するために、支援を募りたいと考えていました。そこで偶然にも、デイビスさんのクラブが過去にEWBを支援した経験があることを知り、再びデイビスさんと連絡を取ることにしました。

結果的に、デイビスさんが所属するロータリークラブが、パートナーとして参加することに。デイビスさん曰く、メジアスさんが既に2回の視察を行っており、ほかの参加者にロータリアンの妻をもつ医者が含まれていることを知って、安心して参加を決めることができたそうです。メジアスさんも、補助金プロジェクトでの協力を通じて、デイビスさんとの友情を育むことができたと話します。

### @ ブラジル・アメリカ

そもそも、メジアスさんはどのような経緯でロータリー奨学生となったのか。

メジアスさんは、ヒューストン大学の研究者として、金属物質を除去するためのバイオフィルターについて研究を行っていました。そこでデイビスさんから大学院生を対象としたロータリー奨学金についての話を聞き、申請期限が迫っていたものの何とか申請を済ませて、結果的に奨学生に選ばれました。

しかし、研究者としての仕事も続けたいと考えていたメジアスさんは、大学側と相談し、博士号の取得を目指して、ヒューストン大学とサンパウロ大学との共同研究プロジェクトを実施できるようになりました。

### @ ウガンダ

メジアスさんは最近、ウガンダで水プロジェクトの実施可能性を調査することを目的としたロータリーのチームリーダーに選ばれており、現在もロータリーとともにさまざまな活動を続けています。